

# 離床アシストロボット リショーンネPlus 導入紹介



特別養護老人ホーム  
みずほの里  
遠藤 晃史



# 導入機器 (離床アシストロボット リショーンネPlus)



# 導入目的

- ・介助者側の身体的負担の軽減
- ・利用者様の表皮剥離等の身体的負担軽減
- ・離床の機会の増加による発動性向上



# 導入経過・スケジュール

事前アンケート実施 平成29年12月15日

納品：平成29年12月11日

説明会：同日

展示体験会約1週間 説明会

12月18日導入開始

事後アンケート① 平成30年1月9日

事後アンケート② 1月29日

事後アンケート③ 2月19日

事後アンケート④ 平成31年2月



# 機器説明会



# リシヨーンネPLus対象者

T. 5年（102歳）

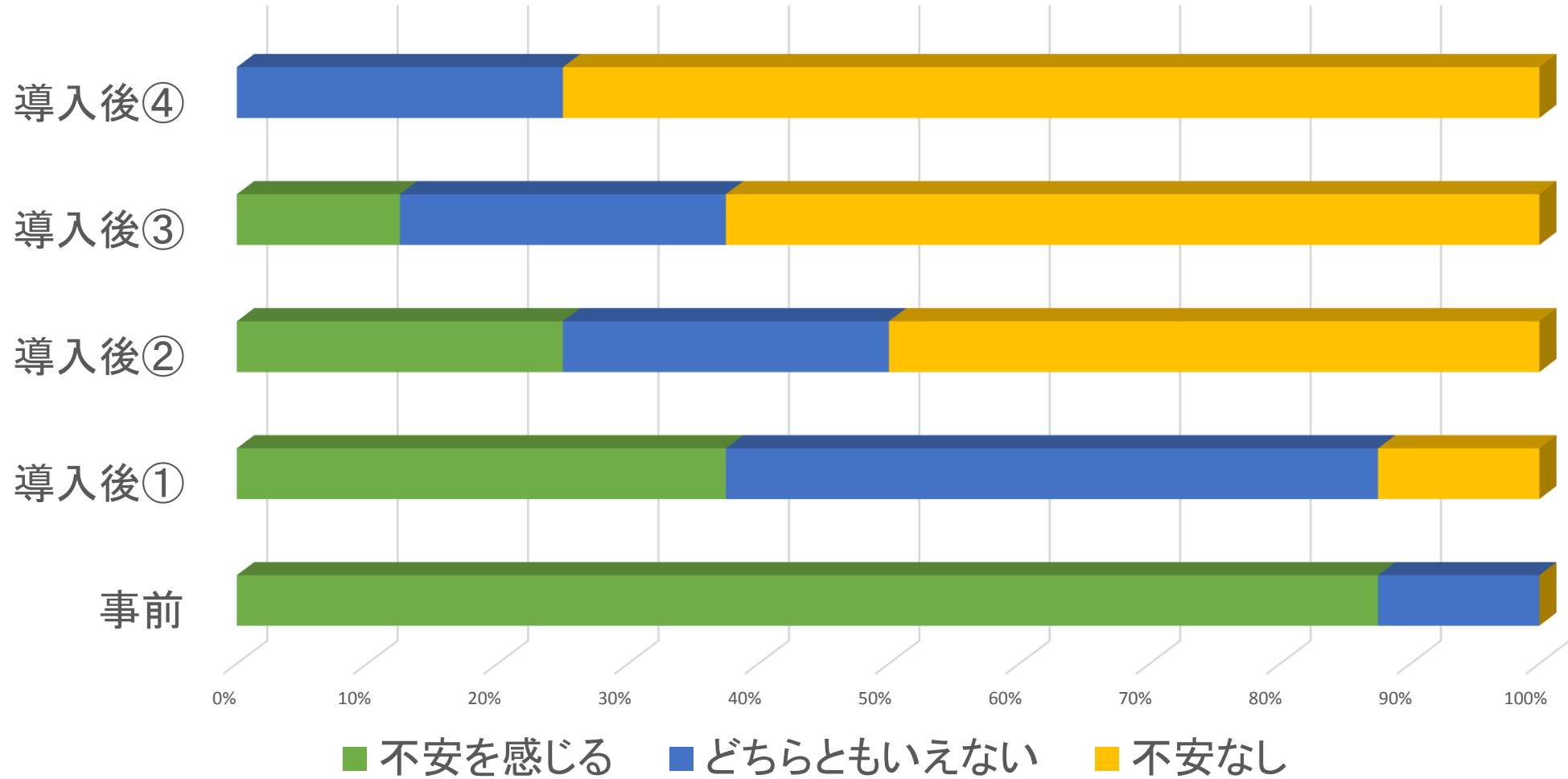
男性

BI:0点 全介助

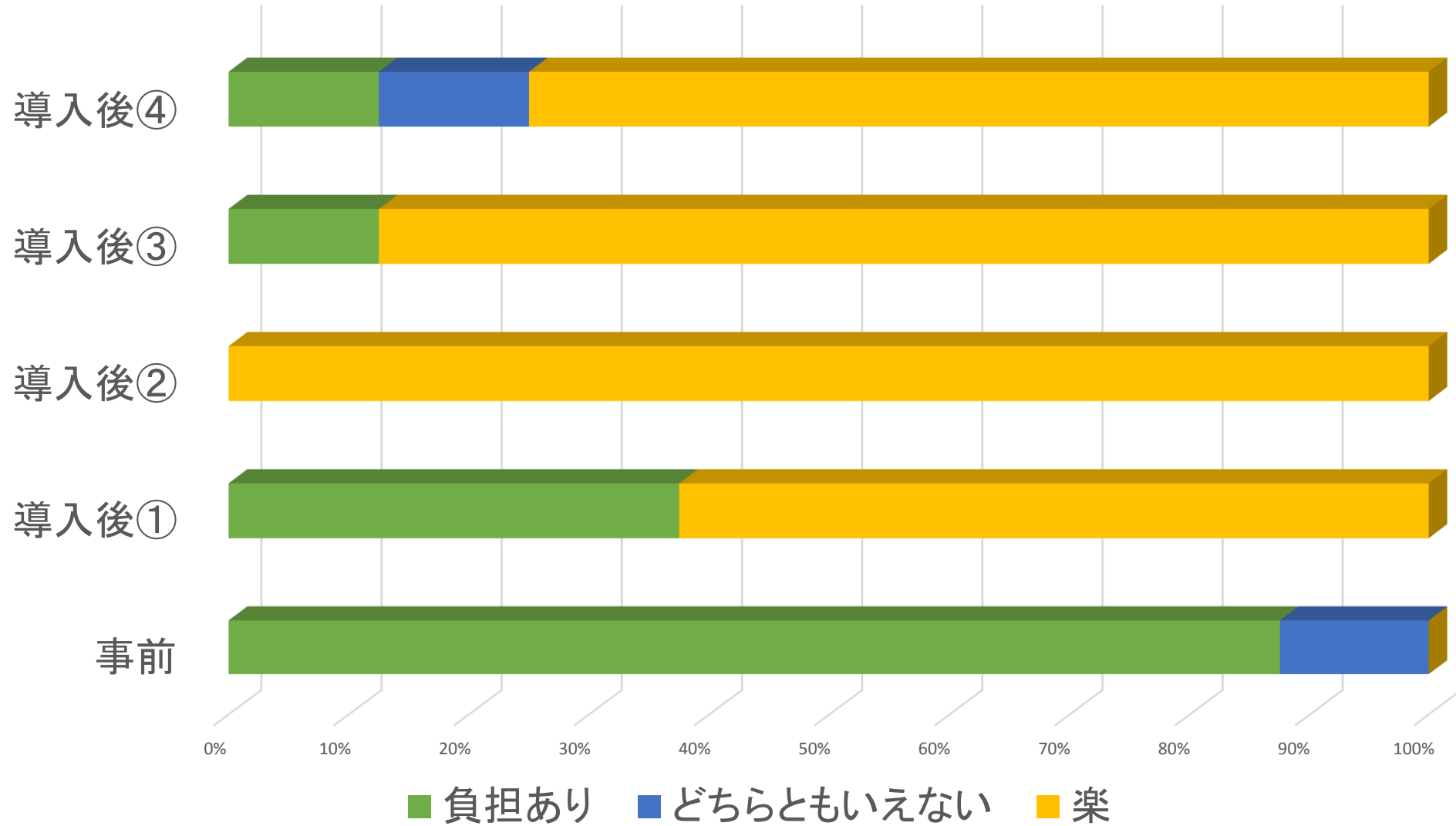
体重:42kg



# 機器操作について

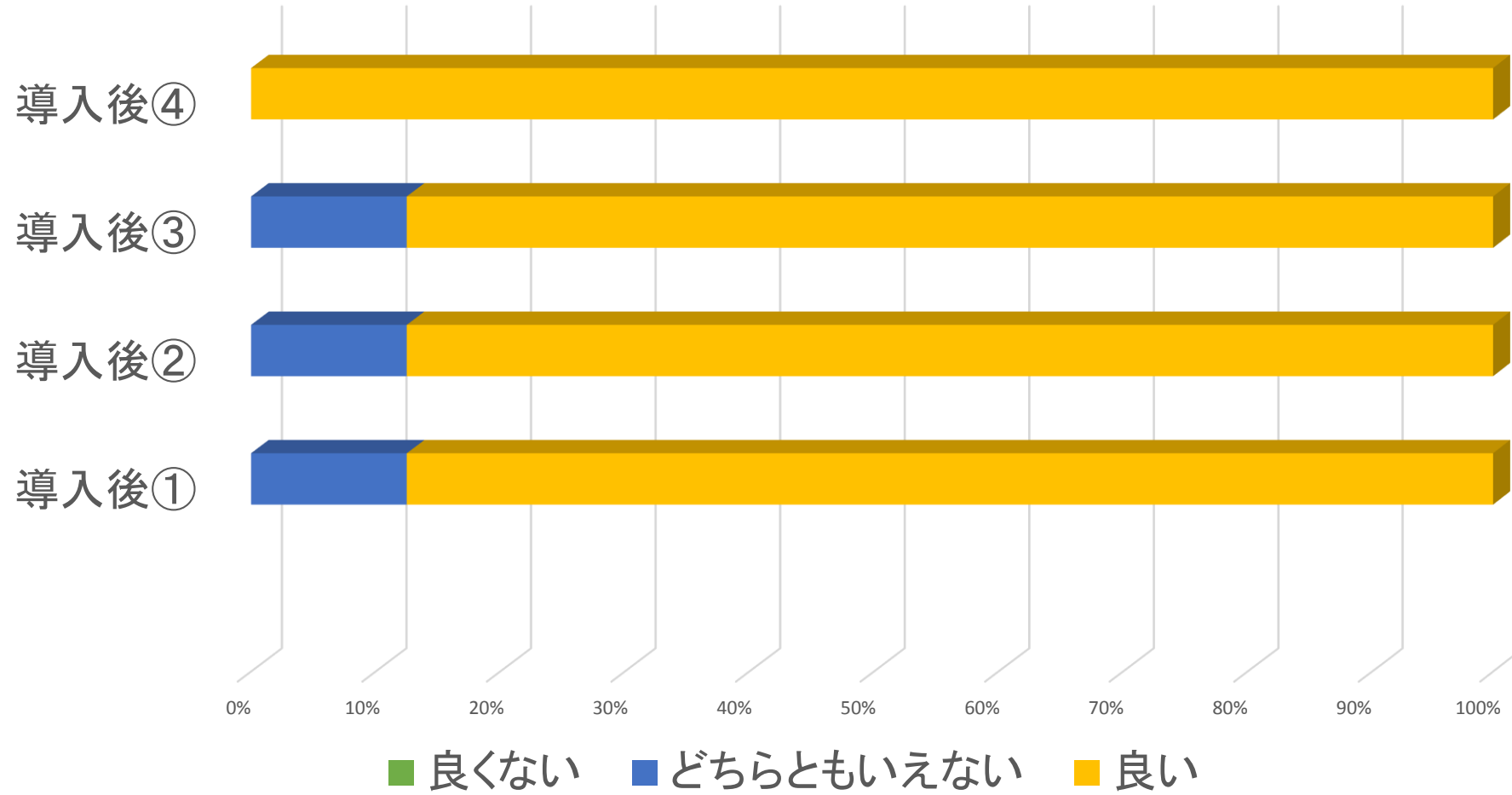


# 介護者の身体的負担

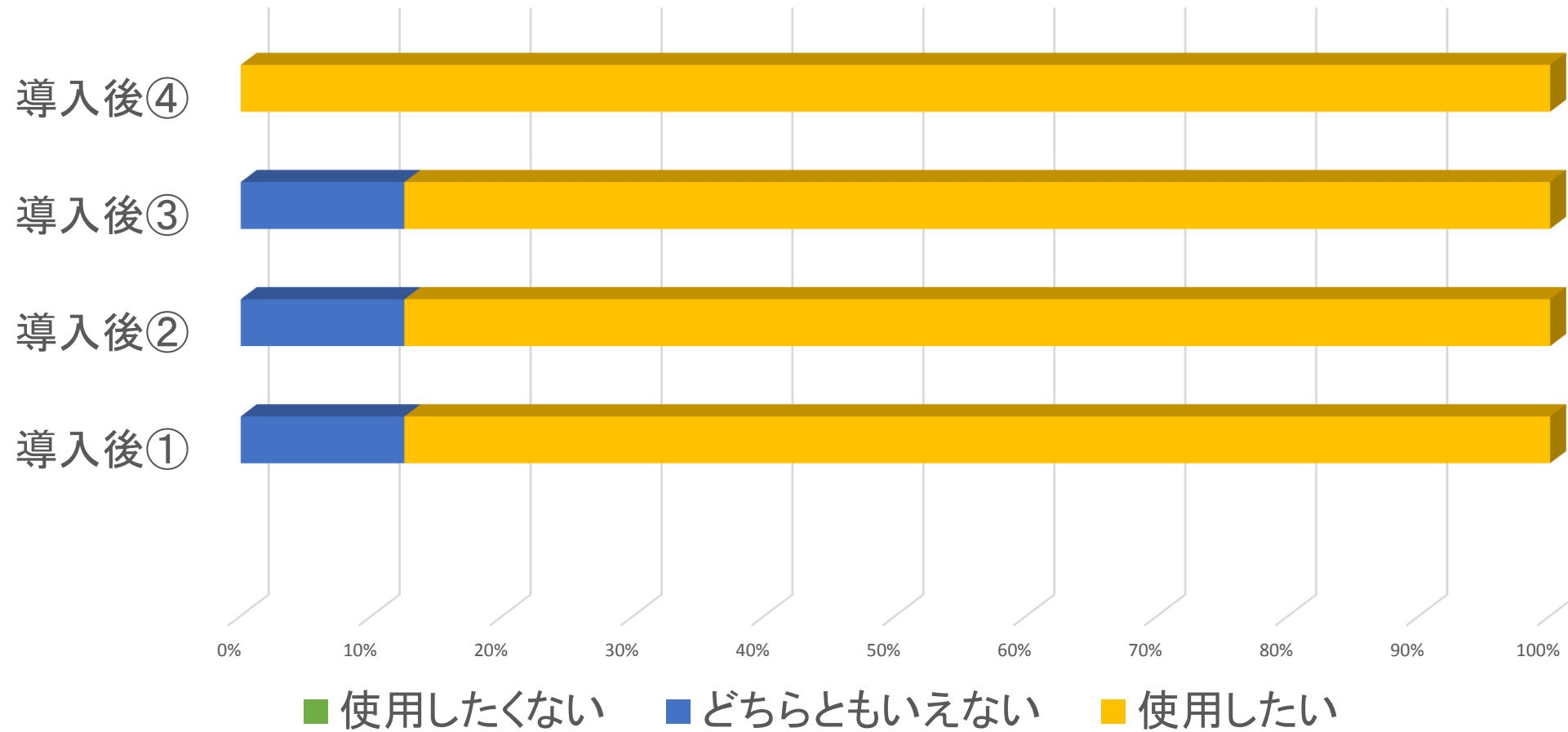




# 導入して良かったか



# 今後も使用していきたいか



# 離床時間

導入前は、週に2回程度入浴時のみの離床であったが、現在は3食離床、その他おやつやテレビを見るために離床するなど離床の機会が増えた。

また、皮下出血や表皮剥離等のリスクも減少している。



# 御家族様の声

- ・テレビを見る意欲が出てきた
- ・笑顔が増えた
- ・周りの動く人を目で追うようになった
- ・頷く程度だったが、言葉が出るようになった

等、喜びの声が聞かれております



# 導入初期の課題

現状、専用シート以外に汚染予防の為、別途シートを使用している。そのため職員の半数はシートの取り外しの為に、2名で移乗を行っている。今後は専用シートのみで対応していくことで1人介助での対応も可能となってくると思われる。

費用に関しては、高価であるため他入居者様にも適応はあるが今後どのように購入していくかは課題となっている。



# 課題に対して

- ・専用シーツのみでの対応でも、特に問題なく使用できている。
- ・また、ベッド上での移動に対して、介護者側の負担を軽減するためにスライディングシートを購入し使用するようになっている。
- ・職員の使用に対する反応や利用者様側での皮下出血や表皮剥離等のリスクの減少もあり施設での予算を組み新たに1台増床することが出来た。
- ・今後も、各通りに1～2台程度設置できるよう徐々に増床していきたいと検討している。



# まとめ

- 今回の機器は、職員・利用者様共に有益なものであった。
- 職員に関しては、新しい機器の導入へ抵抗がある職員もいるが、機器の操作が簡便で準備や設置に時間がかからずに使用できることから受け入れが容易であった。
- 利用者様側からは、無理に持ち上げられることもなく離床出来ることから、皮下出血や表皮剥離等のリスクが減少した。
- お互いに負担が軽減したことで離床の機会が増え、生活範囲が拡大しQOLの向上に繋がった。
- 結果、職員の介護負担軽減、意欲の向上に繋がり、腰痛等での離職減少へも効果が出てくると予想される。



御清聴ありがとうございました



社会福祉法人 **みゆき福祉会**